

茶柱 その156

掛川お茶大使 & 日本茶インストラクター

吉岡亜衣加のお茶の間通信



あけましておめでとございます。
今年もよろしく願いいたします♪

今年の干支は巳ですね。今回は粟ヶ岳に巨大なへびが完成したと聞き訪れてみました。このジャンボ干支は、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の里らしく、「かつぼし」(刈干し)と呼ばれる乾燥させたススキやササなどで作られています。稲わらと違ってススキは固く、形を作るのが難しいそうなのですが、へび独特のウネウネとした躍動感が見事に表現されていました！有志の皆さんで作成される巨大な干支は今年で9年目。全長31メートルにもなる大作で、尻尾のあたりは木に隠れていてまだまだ奥に続いていると思う演出がすてきですね。



粟ヶ岳山頂「かつぼしテラス」に、巨大なへびが出現しました！

見る場所によって、色んな表情を見せてくれるのもおもしろいです。下から見上げると高さもあり、いかに巨大かが分かりますし、テラスから見下ろすと長さやうねりがよく見えます。ウロコに使用しているのは量の縁のひもなのだそうですが、頑丈でしっかり固定できると色や柄がそれぞれ違うので、それがまた見た目にも良い味を出しています。

かつぼしテラスのカフェでは、お茶のセットをいただきました。お店のスタッフさんがお茶の淹れ方を丁寧に説明してくださり、テラス席でまったりお茶をいただきながら巨大な干支をじっくりと眺めました。お天気が良かったこの日は、富士山や伊豆半島まで見渡すこともできてすてきなひと時を味わうことができました。同じく粟ヶ岳山頂にある阿波々神社のお



全長31メートルの大作で、茶草といわれるススキやササで作られているとのこと。



粟ヶ岳のふもとにある東山いっぷく処もぜひ訪れてみてください♪ 2025年も皆さまにとって笑顔あふれる一年になりますように。



お茶のセットをいただきました。スタッフさんにお茶の淹れ方を伺い、まったりティータイムを楽しみました。

餅をいただき、歌のことや皆さんの幸せを祈る願い事を書きつづり結んできました。皆さんも粟ヶ岳で素敵な新年を過ごしてみたいかでしょうか。2025年も皆さまにとって笑顔あふれる一年になりますように。今年も何卒よろしく願いいたします。